

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りだくさん！



ニュースの現場から

2月1日(土)、町民教養講座が中央公民館で開催されました。今年度は、ジャーナリストの鳥越俊太郎氏を講師に招き「ニュースの読み方」と題して講演が行われました。新聞記者として取材をされた経験など、ニュース現場の第一線で活躍される鳥越氏の貴重な話を聴くことができました。



鬼は外！ 福は内！

2月3日(月)、雷電神社で毎年恒例の節分祭と豆まき式が行われました。季節の始めに邪気を払って、家内安全や無病息災を願うために行われました。

そらいろ保育園と板倉保育園の園児たちがあいくるしい鬼たちに向かって元気に豆を投げるとあたりは笑い声に包まれました。



地域でがんに立ち向かう

2月5日(水)、館林市三の丸芸術ホールでがんに強いぐんまづくりサポーター養成講座が行われました。県主催のこの講座では、医師による検診の重要性やがん体験者からのメッセージがサポーターに伝えられました。

町では8名のかたががんに強いぐんまづくりサポーターに登録しています。



2020年カプセル開封予定

2月13日(木)、板倉中学校で立志式が行われ、板中2年生141名が式に臨みました。卒業生の講演では、音楽家の大塚雅仁さん(海老瀬)が学生時代の思い出話を交え、紆余曲折を経て音楽家になったいきさつを話しました。大塚さんがアカペラでイタリア民謡を披露すると会場は大きな拍手に包まれました。



活力のある町へ

2月2日(日)、東洋大学板倉キャンパスで賀詞交歓会が行われました。これは町と町内各種団体及び企業関係者などが相互の理解と親睦を深め、より活気に満ちたまちづくりの実現に向けた情報交換、意見交換の場として開催されたものです。

今年度は岩田出身の栗原優氏(東レ^{くりはらまさる}上級研究員)により、「世界の水問題解決に貢献！ -21世紀型水処理基幹技術を日本イニシアチブで構築-」というタイトルで記念講演が行われました。水が豊富な日本と違い、世界中で安全な水の需要が増えている現在、海水の淡水化において、栗原氏が研究してきた濾過膜などの技術が利用されているといった内容の講演に約200名のかたがたが耳を傾けました。

交歓会では、日頃さまざまな角度から町を支えていただいているかたがたが一堂に会し、普段交わす機会の少ない情報交換や意見交換が行われ、これからの町の活性化につながる貴重なひとときとなりました。



旭日小綬章を受章

2月16日(日)、東洋大学板倉キャンパスではが^{はり}あ^ある^おき^{きょく}じ^つし^{ょう}じ^ゆし^{ょう} 針ヶ谷照夫氏 旭日小 綬章受章祝賀会が開催されました。針ヶ谷氏は平成25年秋の叙勲で地方自治功勞により同章を受章されました。祝賀会は町内外から139名の招待者を招いて盛大に行われました。針ヶ谷氏は「叙勲を受章できたのは多くのかたがたの協力^{たまもの}の賜物。今後も健康に留意し、少しでも地域社会の役に立ちたい」と話しました。